

平成26年度

身体拘束廃止推進モデル施設研修会

アンケート集計結果

研 修 日 : 平成26年11月6日(木)

会 場 : 老人保健施設 レストア川崎

講 義 テ ー マ「身体拘束廃止についての理解」

講 師 横浜メディカルグループ 看護部
鈴木 恵美子

参 加 人 数 : 33名

(職種別)	看 護 師	:	5 名
	介 護 士	:	18 名
	リ ハ ビ リ	:	3 名
	ケアマネージャー	:	1 名
	社会福祉士	:	1 名
	管 理 職	:	1 名
	未 記 入	:	4 名

合 計 : 33 名

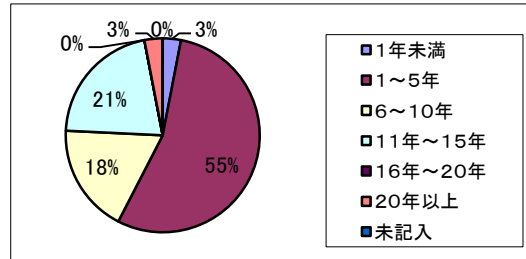
研修日 : 平成26年11月6日

神奈川県身体拘束廃止推進モデル施設

アンケート枚数 33 枚

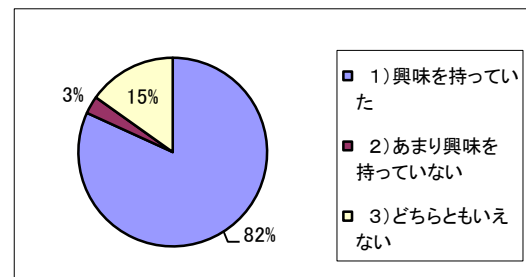
<経験年数>

1年未満	1名	3%
1～5年	18名	55%
6～10年	6名	18%
11年～15年	7名	21%
16年～20年	0名	0%
20年以上	1名	3%
未記入	0名	0%



1. 今回の研修会について

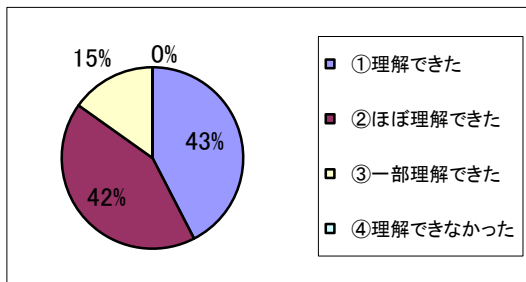
1)興味を持っていた	27名	82%
2)あまり興味を持っていない	1名	3%
3)どちらともいえない	5名	15%



2. 講義内容について

1)理解度について

①理解できた	14名	42%
②ほぼ理解できた	14名	42%
③一部理解できた	5名	15%
④理解できなかった	0名	0%

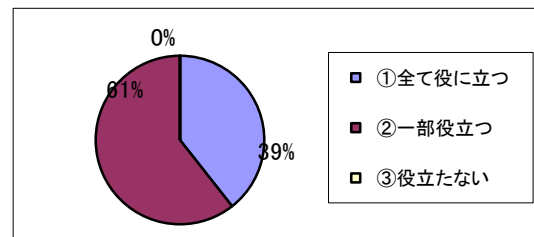


②ほぼ理解できた と答えた方の意見

・ 質問の時間がない。レジュメの情報が少ない。お話の内容は、とても参考になった。

2)実践への応用について

①全て役に立つ	13名	39%
②一部役立つ	20名	61%
③役立たない	0名	0%



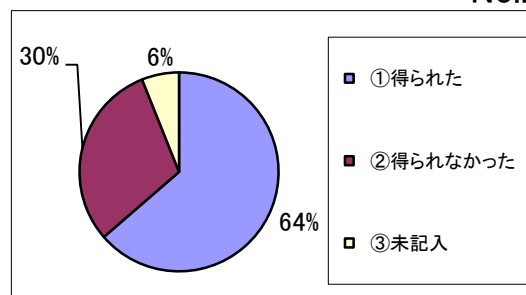
②一部役立つ と答えた方の意見

・ 日々心がけていくことが大切だと感じました。

3. グループワークについて

1) 日頃の悩みや課題の解決策が得られたかどうか

①得られた	21名	64%
②得られなかった	10名	30%
③未記入	2名	6%



②得られた と答えた方の意見

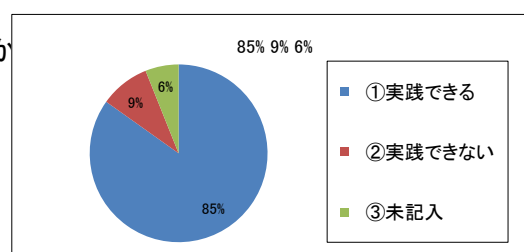
- ・ 色々な意見を聞く事が出来た事。

③得られなかった と答えた方の意見

- ・ 時間が短い
- ・ 悩みや課題についての考えをまとめられず、時間内に話し合うことができなかったが、他の方の意見を聞くことは良い影響を得られたと考えられる。
- ・ 問題点は、出たが、時間が無く、解決策のヒントが得られなかった。
- ・ 時間が少なくて、話し合い切れませんでした。
- ・ センサーマットの使用について、家族の同意を得る、理解を求めていくとあったが、本人の意思が無い場合は、何も変わらないのでは。
- ・ 活がそこまでいたらなかった。

2) 討議した内容は、明日からの業務で実践できるかどうか

①実践できる	28名	85%
②実践できない	3名	9%
③未記入	2名	6%



①実践できる と答えた方の意見

- ・ 実践は、できるが、家族の理解を得る事は、難しいかも。繰り返し、説明や利用者の状況の変化をたびたび伝えていく。
- ・ フロアスタッフに伝えていきたいと思います。

②実践できない と答えた方の意見

- ・ 具体的なものが得られなかった。
- ・ スタッフの共通の認識ではないから。

4. 研修全体を通しての感想について(複数回答)

1) 内容のレベルが高すぎた	1名
2) 内容のレベルが低すぎた	0名
3) 期待していた内容と違った	0名
4) 問題解決の糸口が得られた	10名
5) 今後の課題や方向性がかめた	12名
6) 他の施設と問題の共有ができた	23名
7) その他	2名

その他の方の意見

他施設の状況を聴く事ができた。グループワークの時間が短かった。

- ・ グループワークの時間がもっとあった方が良かった。
- ・ 拘束廃止の事例発表(ケース)等
- ・ 腰痛対策。持ち上げない、無理に支えない、どうやって。機械は高額・・・。
- ・ ドラックロックについて詳しくご講義頂ければ幸甚に存じます。
- ・ 他施設の状況が知る事ができた。
- ・ 他施設とのかかわりが持ててよかった。
- ・ 次があればより積極的に話し合いに参加していこうと考えています。
- ・ 施設の中の見学などもしてみたかったです。
- ・ 包括では、虐待としてあつまっている。考える機会になりました。
- ・ 拘束ゼロに向けての経過が知りたい。トップが責任を負うと言う一言で全て解決なのか？
事故との関連(事故件数の増減)。もし拘束があった時より事故が減少しているなら、拘束が無くなったから減ったのか、他の利用で減ったのか知りたいです。
- ・ たまたまなのかもしれませんが、参加グループに現場での介護士が少なく、問題点の共有というより一方的に問題点を洗い出されているかのようであった。バランスご考を。
- ・ センサー使用するメリット、デメリットを考えるとデメリットの方が多い。しかし外すということは巡回数や環境整備を根本的に見直すことが必要。「議論する」ことの重要性が痛感しました。
- ・ 身体拘束ゼロは、難しいが、そこに向かっていく事が大事だと感じる事が出来ました。
- ・ グループワークの時間が少ない。アンケートのグループワークの質問に対しては、どちらにも答えられない。
- ・ 鈴木さんの話は、早口では無く、聞きやすかった。グループワークは、もうすこし時間が欲しかった。
- ・ 短い時間では、ありましたが、とても有意義な時間でした。様々な施設の問題点が共有でき、実際の現場で活かしていきたいと思います。